

JRCオンライン語り部LIVEの実施

○2月6日(火)に、JRCのオンライン語り部LIVEを復興教育の一環として昨年度に引き続き実施しました。

○この取り組みは、東日本大震災から10年以上が経過し、当時を知らない子ども達が、被災地の想いを繋ぎ、災害発生時に自分のいのちをしっかりと守れることをねらって実施されているものです。

○今年度の語り部は、震災当時17歳の高校生で、津波で大切な祖父母を亡くされた千葉颯丸(かぜまる)さんという方でした。「自分にとって震災がもたらしたものは」などについて、お話していただきました。

□生徒の感想等(抜粋)

○小さい頃に起きた震災だったので何も覚えていないからこそ、命の大切さを学ぶことができました。

○3.11の話を語り継いでいき、忘れないで向き合っていきたいと思いました。

○大変な状況だったのに、1人で頑張ってすごいなと思いました。

○大切な人を失った方のお話は初めて聞いたので、震災の恐ろしさを改めて感じました。

○毎日家族と一緒にいられることが当たり前ではないことがわかりました。

○震災の時の心の傷は、すぐに治るものじゃないんだと改めて思った。

